



# 戦争と

# ジャーナリスト

～ベトナム戦争とウクライナ、ガザを考える

講師：**中村 梧郎**さん（フォトジャーナリスト）



ベトナム戦争の枯葉剤問題を追及し、ベトちゃん・ドクちゃん  
の分離手術に立ち会い、撮影したフォトジャーナリストの  
中村梧郎さん。ベトナム戦争では過去から現在まで、多くの  
「ウソ」が報道され続けていると指摘します。近著『記者狙  
撃』では、1979年に中越戦争の最前線で殺害された盟  
友の記者について書き記しています。なぜ、戦争でジャー  
ナリストは狙われるのか。戦争報道の役割とは。ロシアのウク  
ライナ侵攻とベトナム戦争は、「帝国主義的侵略」という共  
通点があると、中村さんは言います。今も世界各地で戦争

と紛争が絶えない中、現地で撮影した多くの写真を通して、戦争とジャーナリストについ  
て考えます。 **オンラインでも視聴できます**（右のフォームから申込みください）

第74回 埼玉・市民ジャーナリズム講座

2024年

**10月12日**（土）

午前10時～正午

武蔵浦和コミセン第8・9集会室

（定員78人、先着順）

**中村 梧郎**

1970年以降ベトナム戦争を取材。戦後は枯葉剤問題を追及。1999～2004年  
岐阜大学地域科学部教授。1983年ニ  
コン第8回伊奈信男賞。95年日本ジャー  
ナリスト会議 JCI 特別賞。2005年第1  
回日本科学ジャーナリスト賞。07年ニュー  
ヨークでマグナム創立60周年記念招待  
作家として枯葉剤写真展、全米巡回。  
JCI 代表委員、日本写真家協会会友、  
現代写真研究所副所長。著書に『母は枯  
葉剤を浴びた』（新潮文庫、新版・岩波  
現代文庫）、『戦場の枯葉剤』（岩波  
書店）、『記者狙撃』（花伝社）など。  
1940年生まれ。さいたま市在住。

申込み&問合せ

090-6190-4634(キクチ)

FAX 048-798-7634

saitamashiminj@gmail.com



← 申込みフォーム

参加費：800円  
準備の都合上、事前にご  
連絡をおねがいします

**埼玉・市民ジャーナリズム講座**

埼玉県には古くから独自の歴史と文化があります。埼玉がよりいっそう活性化、発展するためには地域に根ざした多様

で「市民に開かれたメディア」の存在と活躍が不可欠です。いま一度、多くのおみなさんと、ジャーナリズム、メディアリテラシー、地域文化の育成などの課題を、この「埼玉・市民ジャーナリズム講座」の場を通して共に考え、情報発信していきたいと考えています。この企画は地元・地方紙「埼玉新聞」の紙面協力のもと2014年から取り組んでいます。主催：埼玉・市民ジャーナリズム講座実行委員会（埼玉新聞サポーターズクラブ／日本機関紙協会埼玉県本部／NPO法人埼玉情報センター／さきたま新聞 NPO くまがや 有志）協力：SAITAMA 共同かわらばん